

館林市公共施設等全体個別施設計画

第1期計画 (2021年度～2025年度)



2021年3月
群馬県館林市

目 次

| | |
|--------------------|----|
| I. 基本的な考え方 | |
| 1 計画の背景・目的等 | 1 |
| 2 計画の位置づけ | 2 |
| 3 方向性の設定 | 2 |
| 4 計画の構成 | 4 |
| 5 計画期間 | 5 |
| 6 計画の取組体制 | 5 |
| II. 施設の適正管理に向けた取組 | |
| 1 館林市公有財産管理システムの役割 | 7 |
| 2 施設データの一元化 | 7 |
| 3 施設の評価項目 | 7 |
| 4 再編の手法 | 12 |
| III. 維持保全 | |
| 1 維持保全の考え方 | 13 |
| IV. 館林市個別施設リスト | 14 |

- | |
|--|
| 1 市民サービス系施設 ①市民文化系施設 ②社会教育系施設（公民館） ③社会教育系施設（図書館、博物館、資料館等）④社会教育系施設（集会所） ⑤スポーツ・レクリエーション施設（スポーツ系施設）⑥スポーツ・レクリエーション施設（レクリエーション系施設） ⑦産業系施設 ⑧学校教育系施設 ⑨子育て支援施設 ⑩保健・福祉施設 ⑪医療施設 |
| 2 行政事務系施設 ①行政系施設 |
| 3 生活基盤系施設 ①公園 ②市営住宅 ③下水道施設 |
| 4 その他施設 |



【館林市】

I. 基本的な考え方

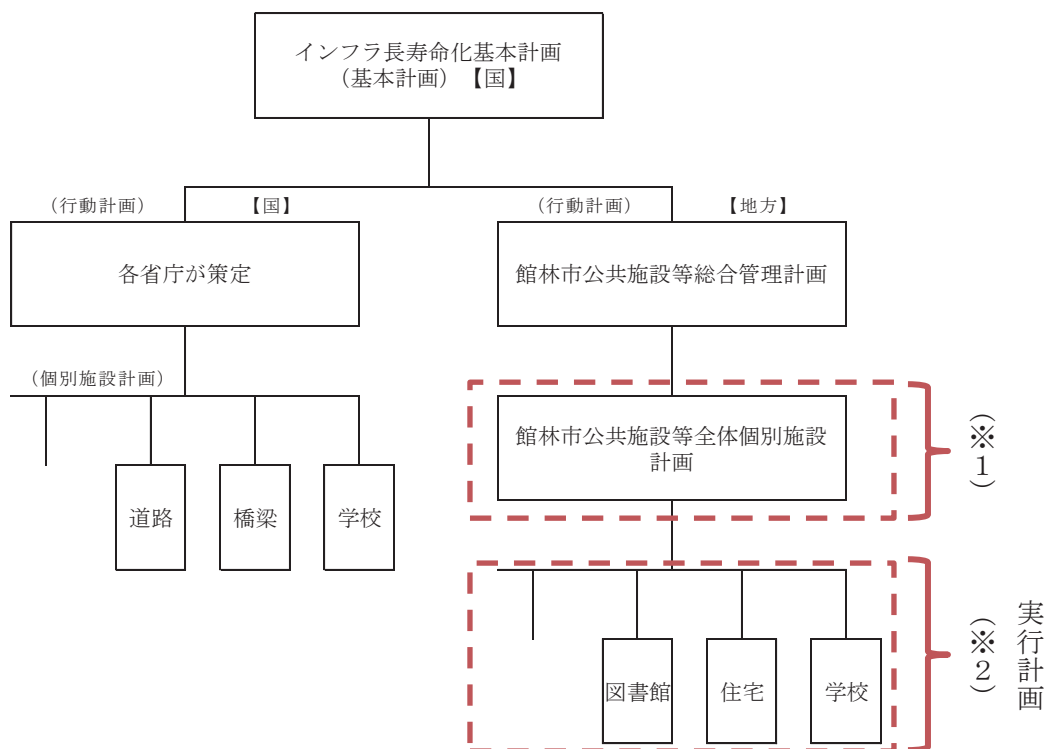
1 計画の背景・目的等

地方財政の状況が厳しさを増す中で、公共施設等の老朽化対策は全国的な大きな課題であることから、国では「新しく造ること」から「賢く使うこと」へ重点を置くという認識のもと、2013年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、2014年4月には、地方公共団体に向けて「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」を示しています。

本市においても、ハコモノといわれる建物系施設のほか、道路や橋梁、下水道などのインフラ施設が一斉に更新時期を迎え、多額の経費を必要としています。また、少子高齢化の進展や人口減少等により、公共施設等に対する市民ニーズが変化していくことが推測されます。

このようなことから、公共施設等の維持管理の基本的な方針を定める「館林市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を2017年3月に策定したところです。この計画に基づき策定する「館林市公共施設等全体個別施設計画」（以下「本計画」という。）において、個別施設ごとの短期・中長期的な方向性や取組内容を横断的に定めることにより、個別施設ごとに作成する「館林市公共施設等全体個別施設計画に基づく実行計画」（以下「実行計画」という。）への展開を図ります。

【各計画の相互関係】



※1 本計画は建物系施設を対象として、個別施設ごとの方向性を定めるものです。

※2 実行計画は、個別施設ごとの方向性に基づき対策費用や対策実施時期等を具体的に定めるもので、本計画を補完するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、本市の市政運営の指針となる館林市総合計画を最上位計画とし、総合管理計画の実効性を高めるための「個別施設における必要な対策や基本となる方向性を示す計画」として位置づけます。

また、本計画に基づき作成する実行計画において試算した修繕・更新コストや、総合管理計画における施設の管理方針や管理に関する課題を踏まえ、個別施設ごとの方向性を設定するとともに、今後に向けた課題を整理します。

なお、各施設所管課にて長寿命化計画等を策定している場合は、当該計画をもって実行計画とします。

【長寿命化計画策定（予定）施設】

| 施設分類 | 施設名 | 計画名 | 策定期期 |
|---------|------|------------------|-------|
| 生活基盤系施設 | 市営住宅 | 館林市市営住宅長寿命化計画（仮） | 2021年 |
| 生活基盤系施設 | 公園 | 館林市公園施設長寿命化計画 | 2014年 |

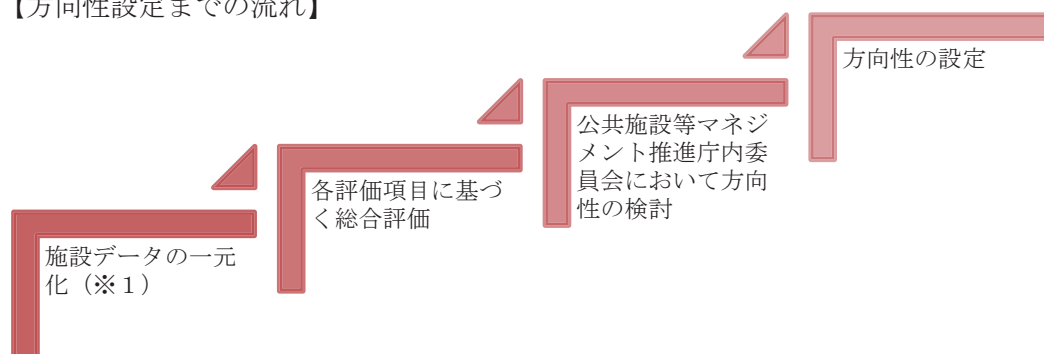
3 方向性の設定

(1) 方向性の設定

本計画では各施設所管課の施設評価を踏まえ、公共施設等マネジメント推進庁内委員会においてその評価結果を全庁的な観点から検討し、個別施設ごとの方向性を設定しました。

今後は2019年度に導入した「公有財産管理システム」を用いて、施設データを一元管理し、公共施設等の利用者数、維持管理コスト、使用料等多様な変数を複合的に分析・評価し、必要に応じて本計画に反映します。

【方向性設定までの流れ】



※1 既存データの集約化、不足データの収集

(2) 公共施設等の管理に関する基本となる方向性

個別施設ごとの基本となる方向性を設定するにあたっては、総合管理計画で定めた公共施設等の管理に関する基本的な方針を遵守します。

【公共施設等総合管理計画における公共施設等の管理に関する基本的な方針】 ※抜粋

(1) 効果的な施設の配置と運営

①ニーズの把握と最適な施設の検討

少子高齢化及び人口減少による市民ニーズの変化を適切に把握し、施設の規模、立地、設備など、多角的に検討して施設の最適化を図ります。

②再配置への取組

施設の業務内容・運営コスト等を検証し、ニーズに呼応する施設をより有効に活用するために、用途変更、他施設との複合化、廃止、除却を含めて再配置に取り組み、施設の保有量を縮減するとともに施設の質の充実に努めます。

③まちづくりとの整合

都市計画マスタープランや立地適正化計画との整合を図り、効率的で持続可能なコンパクトシティを形成するために、公共施設等の配置を検討します。

④公民連携の推進

公共施設の運営は、従来の方法にとらわれることなく、最適な運営方法を検討し、公民連携による運営コストの適正化に努めます。

(2) 維持管理と新規整備

①計画的な維持管理

計画的に点検及び修繕を行うことにより、大規模な修繕や改修を未然に防止する予防保全を推進し、施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を目指します。

また、修繕履歴や点検診断等の結果を記録・管理する施設台帳を整備し、計画的な維持管理の基礎資料とします。

②個別施設計画の策定と推進

本計画を推進するためのより具体的な取組内容は、各施設が個別施設計画を策定します。なお、個別施設計画は、既に策定されているものを含め、新技術の活用や社会情勢の変化等を適切に反映するために適宜見直しを行います。

③建物系施設の新規整備

建物系施設の新規整備については、既存施設の余剰スペースの活用や用途変更のほか、施設の複合化などによる対応を優先して検討します。

(3) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築

館林市公共施設等マネジメント推進委員会を設置し、本計画の進行管理や個別施設計画の策定及び実施状況を共有することで、全庁的な公共施設等マネジメントを推進します。

4 計画の構成

本計画では、個別施設ごとに定めた評価・方向性等を個別施設リストで示すとともに、公共施設全体の視点に立って進捗管理を行います。

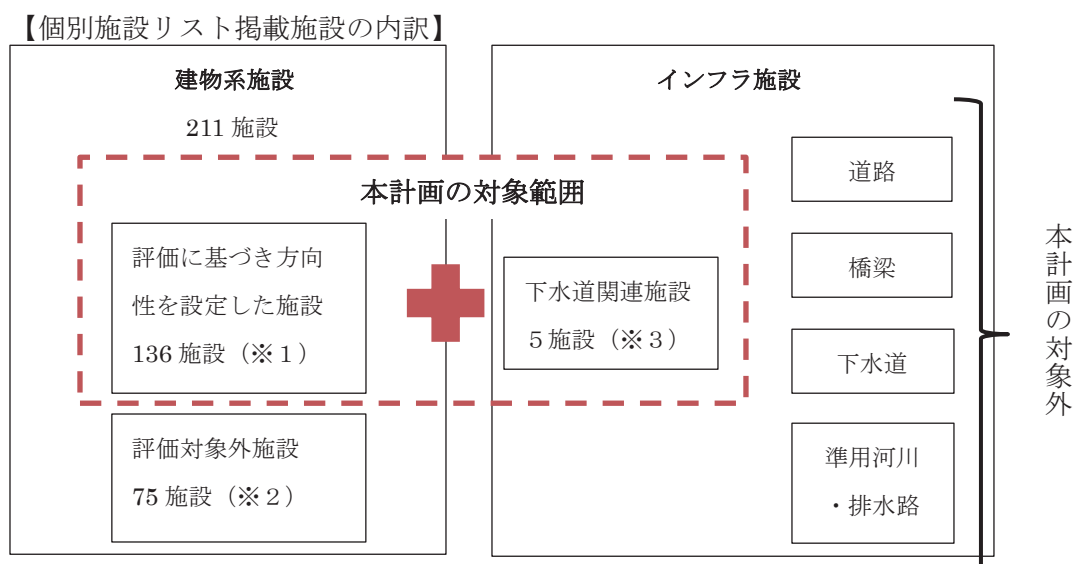
なお、新たに施設評価を実施し、今後の方向性を定めた施設については、随時リストに追加する等、必要に応じて本計画を更新します。

○個別施設リスト

施設評価により方向性を設定した個別施設については、施設の現況や政策的評価に基づき管理・運営に関する方向性の内容を示します。

なお、現時点における方向性であるため、各施設所管課と協議のうえ、今後の社会情勢の変化に対応しながら随時見直しを行います。

また、本計画の対象施設は、総管理計画の対象である公共施設等を基本としますが、道路や橋梁、下水道施設（一部施設を除く）などのインフラ施設は、計画をすでに策定しているか、又は必要に応じて個別に策定するため、本計画の対象外としています。



- ※1 総管理計画策定後に廃止された、又は新たに設置された施設も考慮しています（新設：三小東学童クラブ、館林駅西口駅前広場公衆便所、旧農業指導センター、廃止：勤労青少年ホーム）。
- ※2 一部事務組合が管理する施設及び、小規模な公園トイレなどは本計画の評価対象から除きます。
- ※3 下水道施設のうち5施設については、総管理計画ではインフラ施設に分類されるものですが、本計画の対象範囲とします。

5 計画期間

本計画を着実に推進していくためには、適切な期間設定が重要になります。特に社会情勢の変化が早い現代においては、その変化に対して柔軟に対応していくことが必要です。

そのため、本計画では総合管理計画の計画期間（2017年度～2046年度）を複数の期間に分け、それぞれの期間において基本となる方向性を設定します。具体的には、2021年度から2025年度までの5年間の第1期マネジメント期間として設定し、それ以降定期的に更新していくものとします。

6 計画の取組体制

(1) 全庁的な推進・取組体制

全庁的に公共施設等マネジメントを推進し、本計画の進行管理や実行計画の策定及び実施状況を共有するため、公共施設等マネジメント推進庁内委員会を中心として取り組みます。

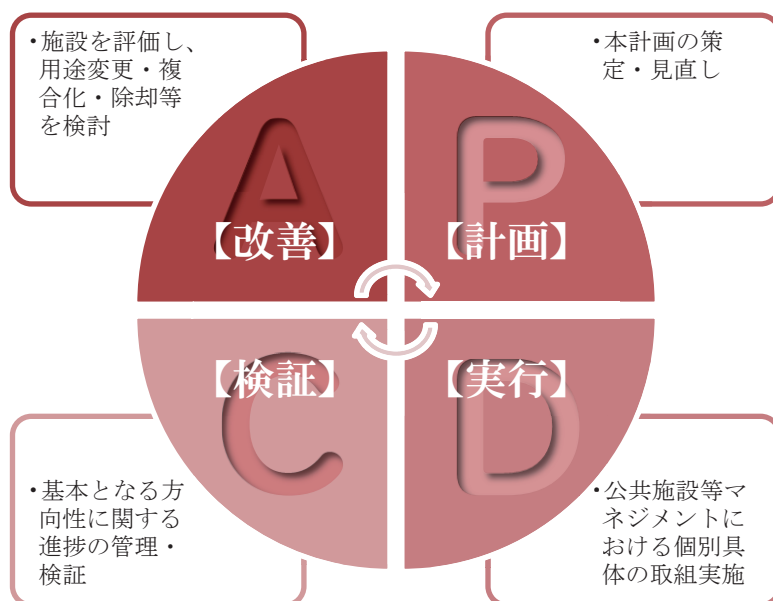
また、公共施設等マネジメント推進庁内委員会は、各施設所管課に横串を通す組織として、公共施設等マネジメントについて全庁的な最適化を推進します。

本計画に基づく公共施設等マネジメントの推進については、議会や市民との共通理解が不可欠であるため、ホームページや広報紙等を活用し、情報の共有を図ります。

(2) フォローアップ体制

PDCA（計画・実行・検証・改善）サイクルを運用し、本計画で示した基本方針に関する進捗状況を検証するほか、本市の人口動態や社会情勢、市民ニーズの変化を把握し、必要に応じて計画の見直しを行います。

【PDCAサイクル図】

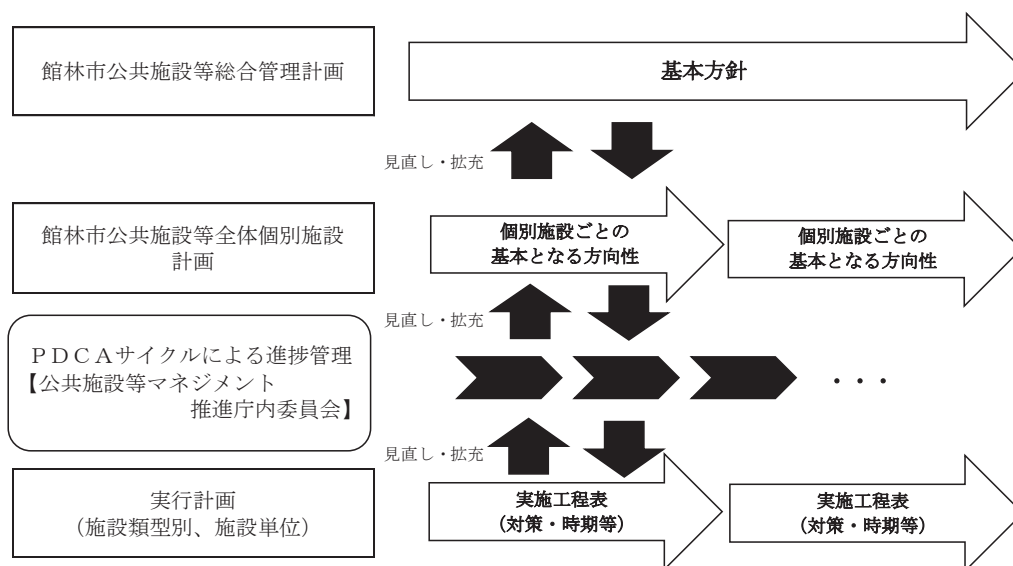


(3) 総合管理計画及び実行計画との関連性

本計画は、上位計画である総合管理計画の基本方針に基づいて、個別施設ごとの評価や方向性を横断的に定めることにより、施設分類や施設ごとに作成する実行計画への展開を図ります。

本計画及び今後各施設所管課が作成する実行計画については、部門横断組織である公共施設等マネジメント推進庁内委員会と各施設所管課が連携してPDCAサイクルによる進捗管理を行うことで、適宜計画の見直し・拡充を図ります。

【本計画と各計画との関連図】



(4) 実行計画の作成

各施設所管課は、公共施設等マネジメント推進庁内委員会と協議のうえ、具体的に取り組むべき実施事業等の内容を定め、所管施設全体で調整を図りながら実行計画を作成します。ただし、各施設所管課において、個別の長寿命化計画等を定める場合は、当該計画をもって実行計画とします。

個別施設に係る具体的な対策内容、実施時期及び対策費用（コスト）は、実行計画で定めるものとし、公共施設等マネジメント推進庁内委員会は、各施設所管課から提出された実行計画について、本計画との整合や進捗管理に係る確認を行い、その結果を適宜各施設所管課にフィードバックします。

各施設所管課は、実行計画を必要に応じて修正します。

II. 施設の適正管理に向けた取組

1 館林市公有財産管理システムの役割

本市では、2019年度に「公有財産管理システム」を構築しました。これまで紙ベースであった施設の情報が電子化されることにより、より多角的な分析に基づいた公共施設等マネジメントが可能となります。

今後、「公有財産管理システム」の着実な運用を図ることにより、資産経営の最適化を図るため、評価結果や方向性を踏まえつつ、個別施設ごとの見直しや計画的な保全といった具体的な取組を推進していきます。

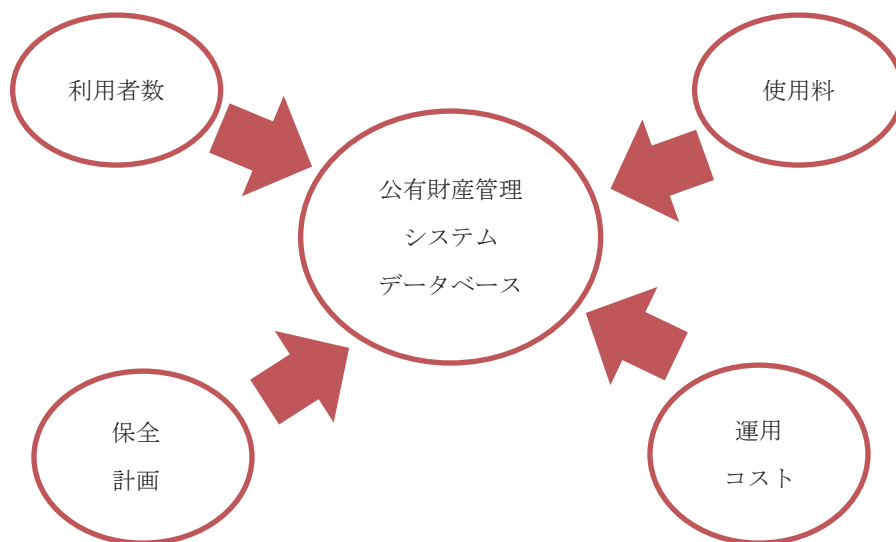
2 施設データの一元化

既存の台帳・システムでは管理していない個別施設ごとの利用実績や運営コストについては、各施設所管課が作成する「実行計画」にて把握し、「公有財産管理システム」データベースに格納し、「施設の評価」に活用していきます。

情報の一元化によって、共通の物差しで施設の比較が可能となり、再編を進めるうえでの基礎データとして活用、施設の評価や見える化による維持管理コストの縮減につなげることが可能となります。

また、施設データは定期的なフォローアップを継続することで、データを更新・蓄積し、施設総量・総量削減の状況、コスト削減額や利用状況等を把握するとともに、再編に向けた取組の実効性の検証、進捗管理に活用します。

【施設データ格納イメージ】



3 施設の評価項目

(1) 個別施設の基本情報、状態等の把握

施設の基本的な情報、施設の状態等を整理します。

本計画における個別施設の基本情報及び現況は2020年4月1日時点のものとします。

(2) 現況評価

老朽化や耐震性、利用者数などの評価項目を数値化し、建物（ハード）と機能（ソフト）の2つの軸で施設ごとに評価を行います。

ア) 評価項目

| 区分 | 評価項目 | 数値の算出方法 | 評価項目の説明 |
|-------------|--------------|---|--|
| 建物 (ハード) | 老朽化率 | 築年数÷法定耐用年数 | 建物自体の老朽化率を表す |
| | 耐震補強の必要性 | 以下の基準により判定する。 ・1981年以降の新基準により建築された建物 ・1981年以前に建築された建物で改修の必要性が低い建物若しくは耐震改修済みの建物 ・1981年以前に建築された建物で改修の必要性が高い建物もしくは、耐震診断を実施していない建物 | 建物の耐震基準適合状況について、建築年や耐震改修の実施状況から必要性について評価 |
| 機能 (ソフト) | 1㎡当り利用者数（供給） | 年間延利用者数÷延床面積 | 施設利用の効率性を評価 |
| | 1㎡当りコスト（財務） | 維持管理コスト÷延床面積 | 施設に使われる行政負担の多寡を評価 |

イ) 評価方法

建物（ハード）と機能（ソフト）について、それぞれ偏差値を算出します。

| 区分 | 対象施設 | 数値の算出方法 |
|-------------|------|---------------------------|
| 建物（ハード）の偏差値 | 全施設 | 老朽化率、耐震補強の必要性の偏差値の平均 |
| 機能（ソフト）の偏差値 | 全施設 | 1㎡当り利用者数、1㎡当りコストの偏差値の平均 ※ |

※1 1㎡当り利用者数については、市民サービス系施設のみ算出しています。

※2 機能（ソフト）の偏差値については、施設分類ごとに算出しています。

ウ) 評価対象施設分類

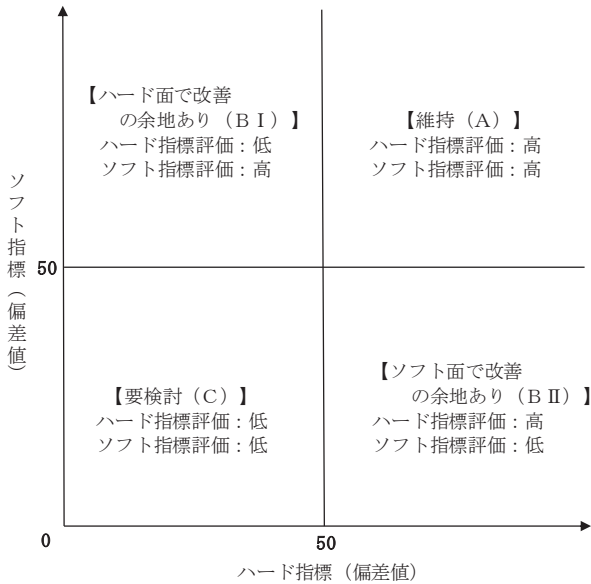
評価の対象となる施設は、施設ごとに役割や性質がそれぞれ異なるため、施設を次のとおり分類し、施設分類ごとに評価指標を設定します。

| 施設分類 | | 評価指標 |
|------------|---|---|
| ①市民サービス系施設 | 行政が市民生活の向上を図ることを目的に設けた施設で、市民が目的をもって利用する施設 | 市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション施設、産業系施設、学校教育系施設、子育て支援施設、保健・福祉施設、医療施設 ・ハード指標 ・ソフト指標（財務・供給） |
| ②行政事務系施設 | 行政が行政事務を執行するために設けた必要な施設 | 行政系施設 ・ハード指標 ・ソフト指標（財務） |
| ③生活基盤系施設 | 行政が市民生活の基盤として設置した施設 | 公園、市営住宅、下水道施設 ・ハード指標 ・ソフト指標（財務） |
| ④その他施設 | どの施設分類にも当てはまらない施設 | その他施設 ・ハード指標 ・ソフト指標（財務） |

エ) 評価分類イメージ

ハード指標、ソフト指標の偏差値から平面を4つの象限に区分し、各施設における現況を評価します。

【象限に区分後の施設評価結果】



【象限で分類された評価判定】

| 評価判定 | 現況評価の内容 |
|---------------------|--|
| 維持 (A) | <ul style="list-style-type: none"> ハード (品質) とソフト (財務・供給) の評価がともに高い。 維持・継続利用で検討する。 |
| ハード面で改善の余地あり (B I) | <ul style="list-style-type: none"> ハード (品質) の評価が低い。 施設の修繕や改修等のハード面での改善の余地がある。 |
| ソフト面で改善の余地あり (B II) | <ul style="list-style-type: none"> ソフト (財務・供給) の評価が低い。 施設の利用向上やコスト低減等のソフト面での改善の余地がある。 |
| 要検討 (C) | <ul style="list-style-type: none"> ハード (品質) とソフト (財務・供給) の評価がともに低い。 施設の今後の方向性について検討する。 |

(3) 政策的評価

数値では表せない要素 (公共性や政策的視点) について、下記の基準等を用いて政策的な評価を行います。

| | |
|------|---|
| 評価基準 | <ul style="list-style-type: none"> ①整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われている。 ②地域防災において、災害拠点や避難施設として指定されており、代替できる施設がない。 ③市内に類似施設が無く希少性が高い。 ④施設の運営方法や施設機能の向上により利用状況が改善できる見込みがある。 ⑤その他、施設の実情 (地域での役割等) に応じて評価を行う。 |
|------|---|

(4) 基本となる方向性の検討

「現況評価」に「政策的評価」を加味して基本となる方向性を設定します。それらの情報を実行計画へ落とし込み、個別施設ごとの現状と課題により今後の具体的な対応を検討します。

【評価による方向性】

| 現況評価 | 政策的評価 | 基本となる方向性 |
|---------------|-------|----------------------------|
| 維持 (A) | 高 | 維持・再編 |
| 改善 (B I・B II) | 高 | 維持・再編 |
| | 低 | 再編・廃止について検討 |
| 要検討 (C) | 高 | 当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める |
| | 低 | 再編・廃止について検討 |

- ・現況評価が「維持」であり、かつ、政策的評価が「高」となった施設については、「維持・再編」を基本となる方向性としします。なお、基本的には「維持」の方向性ですが、自治体経営（※1）の観点から「再編」が妥当と判断した場合は、「再編」としします。
- ・現況評価が「改善」であり、かつ、政策的評価が「高」となった施設については、「維持・再編」を基本となる方向性としします。なお、基本的には「維持」の方向性ですが、自治体経営の観点から「再編」が妥当と判断した場合は、「再編」としします。
- ・現況評価が「改善」であり、かつ、政策的評価が「低」となった施設については、「再編・廃止について検討」を基本となる方向性としします。
- ・現況評価が「要検討」であり、かつ、政策的評価が「高」となった施設については、「当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める」ことを基本となる方向性としします。
- ・現況評価が「要検討」であり、かつ、政策的評価が「低」となった施設については、「再編・廃止について検討」を基本となる方向性としします。

※1 将来住民の選択肢を奪うことなく、現在住民のニーズに対応するため、限られた資源を有効に活用し地域の持続性を確保すること。

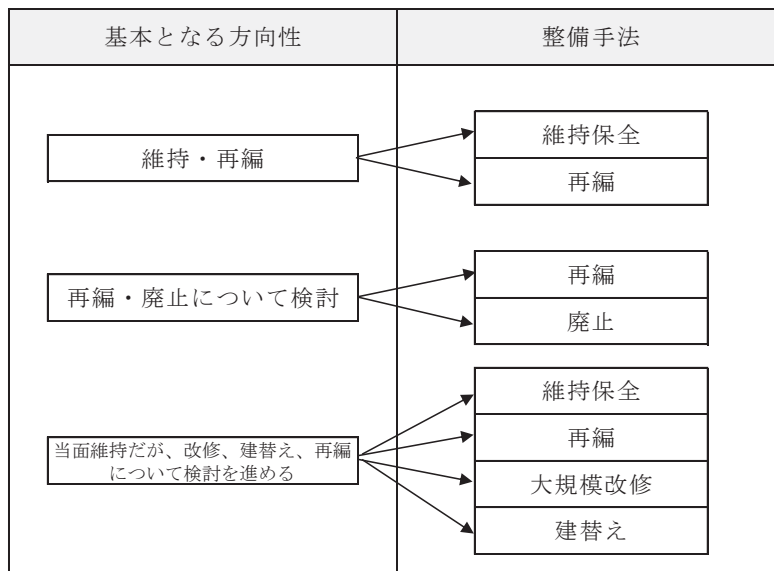
(5) 施設の整備手法と具体的な実施内容

施設評価により導き出された基本となる方向性のもとに、施設の状態等を踏まえ、維持保全、さらには、集約化・複合化等の再編や建替え、廃止等の整備手法を設定し、必要な対策について、具体的な実施内容を施設ごとに整理します。

【整備手法一覧】

| 整備手法 | 対策内容 |
|-------|--|
| 維持保全 | 建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、経年劣化や社会的劣化に対応するため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて修繕・改修等を実施する。長期間の使用を継続できるよう施設の長寿命化に努め、ライフサイクルコストの低減を図る。 |
| 再編 | 施設の目的や地域の活動に着目しながら、多くの人が使いやすいように施設の使い方（機能）を見直し、効率的な施設運営を実現する。 |
| 大規模改修 | 既存の施設について、求められる機能や性能を有する水準へ改修工事を実施する。 |
| 建替え | 既存の施設を取壊し、現地もしくは別地に同等の機能を有する施設を整備する。 |
| 廃止 | 既存の施設を現状のまま存続させる必要性が低い場合は廃止する。 |

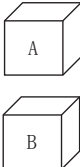
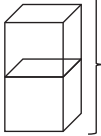
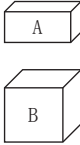

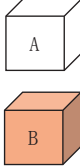
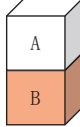
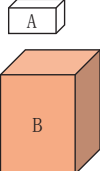
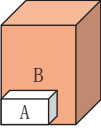


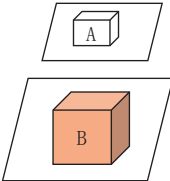
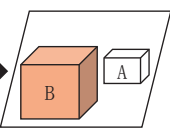

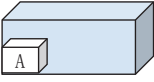
【基本となる方向性に紐づく整備手法】



4 再編の手法

再編の手法については、下表に示した一例のように、既存施設の有効活用、新規建物設備の制限など、状況に応じた再編手法を検討・実施し、ハード・ソフトの両面から施設としての効率性の向上を図ります。

【再編の取り組みの一例】

| 手法 | 取組のイメージ | | 説明 |
|---------------|---|---|---|
| | 実施前 | 実施後 | |
| 集約化 (建物統合) |  |  | 既存の同種又は類似の公共施設を統合し、一体の施設として再整備（建替）する。 |
| 集約化 (機能集約) |  |  | 既存の同種又は類似の公共施設で、1施設に機能集約が可能と判断した場合、一方の施設を廃止して統合する。 |
| 複合化 (建物合築) |  |  | 既存の異なる種類の公共施設を合築し、これらの機能を有した複合施設として再整備（建替）する。 |
| 複合化 (用途変更) |  |  | 既存の異なる種類の公共施設で、一方の施設にある余剰スペースの用途変更で、もう一方の施設の機能確保が可能と判断された場合、後者の施設を廃止して統合する。 |
| 転用 |  |  | 既存の公共施設を改修し、他の施設として利用する。 |
| 併設 |  |  | 既存の同種又は類似の公共施設を統合し、一体の施設として再整備（建替）する。 |
| 民間施設の活用 |  |  | 民間が整備した施設に公共施設が賃料を払ってテナントとして入居する。 |

Ⅲ. 維持保全

1 維持保全の考え方

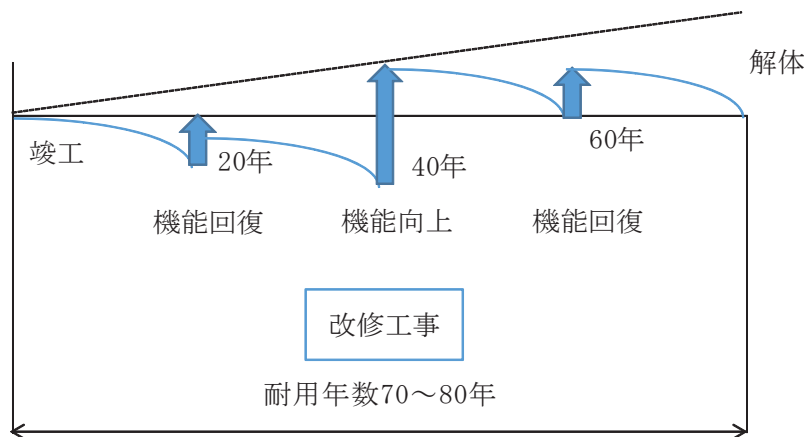
(1) 維持保全の基本的な考え方

公共建築物は、竣工後から経年的に劣化が生じるため、適正な維持保全を実施しない場合には建築物の性能や機能を維持することができず、目標耐用年数以前に建て替えなければならない水準に達してしまうことになります。

そのため、本計画において維持していく方向性である施設については、不具合の程度が進行する前に修繕等の対策を行う予防保全の考え方を基本として、建物の点検・調査、運営データの分析などにより、建物の状態監視を継続的に行って施設データを蓄積していくことで、長寿命化を含む最適な保全措置を講じていきます。

大規模になりうる改修は、施設や設備の陳腐化によって利用率の低下や施設サービスの提供に支障を来す場合や積み残しとなっている修繕の一括施工が効率的な場合など、対象施設の状況を考慮して、実行計画に位置づけたうえで実施することを基本とし、目標耐用年数や関連事業・対策の設定時期に留意して、実施内容を設定することで財政負担の抑制を図ります。

【予防保全による長寿命化イメージ】



(2) 維持保全の目標

限られた財源の中で施設の維持保全を実施するため、再編の実施による総量の最適化とともに、包括的な民間委託など積極的に民間活力の導入を検討し、維持保全費用の削減を図ることを目標とします。

IV. 館林市個別施設リスト

■リストの見方（主な項目の説明）

①基本情報

- ・「経過年数」は、2020年4月1日を基準に算出しています。
- ・複数棟を有する施設は、主な棟（延床面積が大きい棟など）を代表として記載しています。
- ・利用者数は、2018年度と2019年度の延べ利用者数を平均しています。
学校、幼稚園、保育園、学童クラブは2018年度と2019年度の在籍生徒・児童・園児数を平均しています。

②施設評価

- ・「Ⅱ. 施設の適正管理に向けた取組」の「3 施設の評価項目」により評価を行っています。
- ・市民サービス系施設においても、1㎡当り利用者の算出ができない施設については、1㎡当りコストのみ算出しています。複合施設等で建物（施設）全体として維持管理を行っている施設については、1㎡当りのコストを0としています。また、1㎡当り利用者数及びコストの算出が適切でない施設は、建物（ハード）のみで施設評価を行っています。
- ・延床面積による1㎡当り利用者数及び1㎡当りコストの算出が適切でない施設については、施設面積により算出しています（屋外スポーツ系施設、館林駅自転車駐車場管理棟）。施設面積は、延床面積の下にかっこ書きにて記載しています。
- ・施設評価に基づく「基本となる方向性」や「整備手法」については、当該施設の今後の方向性を示しておりますが、外部要因による影響が大きい施設もあることから、5年間のマネジメント期間に縛られるものではありません（市営住宅等）。

③施設状態等・今後の計画

- ・現在の個別施設ごとの状態、今後の計画等を示しています。
- ・5年間の第1期マネジメント期間での改修・修繕の計画についても示しておりますが、財政的な制約もあることから、他の施設との調整を踏まえ検討していきます。

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 文化会館 | 所管課 | 文化振興課 | 92 | 50.9 | 14.9 | 5,143 | 50.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備全般で老朽化が目立っており、特に会館棟の冷房設備に不具合が生じている。また、バリアフリー化やトイレの洋式化が完全でなく、敷地内のタイル等にも段差が生じている。 | 市の芸術文化の拠点施設としての機能を維持していくため、計画的な老朽化対策を実施していく。 【主な改修計画等】 ・会館棟空調設備等改修 ・カルピス®ホール舞台機構設備改修 |
| | | 建築年 | 1974 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 46 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 7,481.66 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 111,610 | | | | | | 維持保全 | | | |

1. 市民サービス系施設

①市民文化系施設（文化系施設）

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|----------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 文化会館 | 所管課 | 文化振興課 | 92 | 50.9 | 14.9 | 5,143 | 50.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備全般で老朽化が目立っており、特に会館棟の冷房設備に不具合が生じている。また、バリアフリー化やトイレの洋式化が完全でなく、敷地内のタイル等にも段差が生じている。 | 市の芸術文化の拠点施設としての機能を維持していくため、計画的な老朽化対策を実施していく。 【主な改修計画等】 ・会館棟空調設備等改修 ・カルピス®ホール舞台機構設備改修 |
| | | 建築年 | 1974 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 46 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 7,481.66 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 111,610 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 三の丸芸術ホール | 所管課 | 文化振興課 | 68 | 53.6 | 31.3 | 13,369 | 50.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備全般で老朽化が目立っている。また、バリアフリー化が完全ではなく、敷地内のタイル等にも段差が生じている。 | 市の芸術文化の拠点施設としての機能を維持するため、計画的な老朽化対策を実施していく。 【主な改修計画等】 ・外壁工事 ・舞台音響設備改修 ・屋上室外機置場屋根防水改修 ・舞台照明設備改修 ・正面玄関改修 |
| | | 建築年 | 1986 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 34 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 2,323.10 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 72,653 | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

1. 市民サービス施設
 ②社会教育系施設（公民館）

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--------------------------------|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 郷谷公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 68 | 53.6 | 26.1 | 972 | 45.3 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の老朽化により、定期的な改修が必要となっている。 | 施設や設備の改修については他館の状況を踏まえ整備していき、防水や空調等を含めた大規模改修を検討する。公民館施設の施設・運営形態は地域の特性を踏まえ、検討する。 【主な改修計画等】 ・エレベーター改修 ・空調設備改修 |
| | | 建築年 | 1994 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 26 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,008.53 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 26,302 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 中部公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 114 | 48.5 | 29.0 | 0 | 57.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。 | 不良箇所の計画的な改修を進める。公民館施設の施設・運営形態については、地域の特性を踏まえ、検討する。 |
| | | 建築年 | 1963 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 57 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,163.07 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 33,707 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 3 | 大島公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 37 | 57.1 | 22.3 | 408 | 49.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の定期的な改修が必要となっている。 | 施設や設備の改修については他館の状況を踏まえ整備していき、防水や空調等を含めた大規模改修を検討する。公民館施設の施設・運営形態は、地域の特性を踏まえ、検討する。 【主な改修計画等】 ・調理実習室改修 |
| | | 建築年 | 2006 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 14 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,026.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 22,900 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | 赤羽公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 68 | 53.6 | 20.6 | 1,739 | 33.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。 | 施設や設備の改修については他館の状況を踏まえ整備していき、防水や空調等を含めた大規模改修を検討する。公民館施設の施設・運営形態は、地域の特性を踏まえ、検討する。 【主な改修計画等】 ・外壁改修 ・エレベーター改修 |
| | | 建築年 | 1986 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 34 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,406.33 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 28,968 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|--------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|-------------------------------|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 5 | 六郷公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 62 | 54.3 | 33.3 | 564 | 54.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。 | 施設や設備の改修については他館の状況を踏まえ整備していき、防水や空調等を含めた大規模改修を検討する。公民館施設の施設・運営形態は、地域の特性を踏まえ、検討する。 【主な改修計画等】 ・エレベーター改修 |
| | | 建築年 | 1989 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 31 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 966.38 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 32,190 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 6 | 三野谷公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 2 | 61.0 | 11.0 | 401 | 43.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 2019年に建替えを行った新しい施設である。 | 不良箇所の計画的な改修を進める。公民館施設の施設・運営形態については、地域の特性を踏まえ、検討する。 |
| | | 建築年 | 2019 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 1 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,043.52 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 11,467 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 7 | 多々良公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 80 | 52.3 | 44.5 | 356 | 62.8 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。 | 施設や設備の改修については他館の状況を踏まえ整備していき、防水や空調等を含めた大規模改修を検討する。施設・運営形態は、地域特性を踏まえ、検討する。 【主な改修計画等】 ・調理実習室改修 ・受電設備改修 ・エレベーター改修 ・空調設備改修 |
| | | 建築年 | 1980 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 40 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | SRC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,245.91 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 55,500 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 8 | 渡瀬公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 78 | 52.5 | 22.0 | 501 | 48.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。 | 施設や設備の改修については他館の状況を踏まえ整備していき、防水や空調等を含めた大規模改修を検討する。公民館施設の施設・運営形態は、地域の特性を踏まえ、検討する。 |
| | | 建築年 | 1981 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 39 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,054.29 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 23,210 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|-------------------------------|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 9 | 分福公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 72 | 53.2 | 31.6 | 502 | 53.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。 | 施設や設備の改修については他館の状況を踏まえ整備していき、防水や空調等を含めた大規模改修を検討する。公民館施設の施設・運営形態については、地域の特性を踏まえ、検討する。 【主な改修計画等】 ・西側屋上防水改修 ・壁面防水改修 ・空調設備改修 |
| | | 建築年 | 1984 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 36 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 735.03 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 23,251 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 10 | 西公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 84 | 51.8 | 33.2 | 642 | 53.1 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。 | 施設や設備の改修については他館の状況を踏まえ整備していき、防水や空調等を含めた大規模改修を検討する。公民館施設の施設・運営形態は、地域の特性を踏まえ、検討する。 【主な改修計画等】 ・エレベーター改修 ・屋上防水改修 |
| | | 建築年 | 1988 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 32 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 836.16 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 27,796 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 11 | 城沼公民館 | 所管課 | 生涯学習課 | 44 | 56.3 | 28.6 | 755 | 49.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設及び設備の老朽化による定期的な改修が必要となっている。 | 施設や設備の改修については他館の状況を踏まえ整備していき、防水や空調等を含めた大規模改修を検討する。公民館施設の施設・運営形態は、地域の特性を踏まえ、検討する。 【主な改修計画等】 ・1階空調設備改修 ・受電設備改修 ・エレベーター改修 |
| | | 建築年 | 1998 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 22 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,049.63 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 30,032 | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

1. 市民サービス系施設

③社会教育系施設（図書館、博物館、資料館等）

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|--------------|---------|--------------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 向井千秋記念子ども科学館 | 所管課 | 向井千秋記念子ども科学館 | 58 | 54.7 | 12.1 | 4,465 | 49.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでおり、吸収冷温水機等の改修が必要となっている。 | 保守点検業務や巡回による建物および設備の適正な維持管理と計画的な改修を行い、安全安心な利用を図る。 |
| | | 建築年 | 1991 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 29 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 4,976.75 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 60,454 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 図書館 | 所管課 | 図書館 | 92 | 50.9 | 26.6 | 4,614 | 50.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでおり、空調設備の改修が必要となっている。排水管の老朽化、外壁・屋上防水機能の低下も進んでいる。また、バリアフリーへの対応も必要となっている。 | 生涯学習の拠点であることから、老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、施設運営は計画的な点検を行い、突発的な修繕を未然に防止する。 |
| | | 建築年 | 1974 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 46 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,981.60 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 52,685 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 3 | 第一資料館 | 所管課 | 文化振興課 | 84 | 51.8 | 15.2 | 0 | 50.8 | 現況評価 | 政策的評価 | 図書館を間借りしている。老朽化しており、展示ケースの壁や床、展示台のクロスの張替え、補修が必要となっている。 | 第一資料館を図書館から独立させ、国重要文化財の借用条件に合うよう建物内に正規職員が常駐でき適切な資料の保存や展示ができる建物への改修を検討する。他の施設を集約した総合博物館の建設についても併せて検討する。 |
| | | 建築年 | 1978 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 42 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 514.40 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 7,843 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | 田山花袋記念文学館 | 所管課 | 文化振興課 | 68 | 53.6 | 8.9 | 4,459 | 49.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 資料保管に適した空調設備や窓やドアへの改修が必要となっている。タイルやインターロッキングの破損やゆがみが多数発生している。また、バリアフリー化が完全ではないため、車椅子等での来館に不便が生じている。 | 国重要文化財の借用条件に合うよう建物内に正規職員が常駐でき適切な資料の保存や展示ができる建物への改修を検討する。他の施設を集約した総合博物館の建設についても検討する。 |
| | | 建築年 | 1986 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 34 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 488.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 4,320 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|----------------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 5 | 第二資料館 （管理棟） | 所管課 | 文化振興課 | 103 | 33.6 | 200.1 | 42,371 | 50.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 市史編さんセンターの事務所となっている。老朽化が進んでおり、外壁や屋根の痛みが目立ってきている。また、空調設備の改修が必要。 | 利用者に影響のある設備等の改修・修繕を優先的に行う。老朽化が進んだ設備等は優先度を考慮し計画的に改修する。（外壁や屋根の補修、エアコンの改修、照明のLED化、トイレ改修など） |
| | | 建築年 | 1981 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 39 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 52.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 10,405 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 6 | 鷹匠町長屋門 | 所管課 | 市民協働課 | 50 | 55.6 | 28.2 | 3,151 | 50.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 板塀が劣化しているため、張替等が必要となっている。 | 市民活動の拠点として活用するため、設備の修繕・改修を順次実施し、施設の長期利用を図る。また、施設の維持管理については、定期的に点検を実施することで、効果的な施設管理を行い、コストの削減を図る。施設管理で可能なものは民間委託を検討する。 |
| | | 建築年 | 2008 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 12 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 83.95 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 2,367 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 7 | 青少年センター | 所管課 | 生涯学習課 | 114 | 48.5 | - | 0 | 55.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、施設及び設備の定期的な改修が必要となっている。 | 老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。 |
| | | 建築年 | 1963 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 57 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 33.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

1. 市民サービス系施設
④社会教育系施設（集会所）

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|--------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|----------------------------|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 田北東集会所 | 所管課 | 生涯学習課 | 171 | 42.1 | 2.8 | 356 | 50.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。 耐震改修工事を実施済み。 | 地域文化の向上と人権教育活動を推進する拠点であることから、老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1979 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 41 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 144.91 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 400 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 野辺集会所 | 所管課 | 生涯学習課 | 188 | 40.3 | 2.6 | 237 | 50.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。 耐震改修工事を実施済み。 | 地域文化の向上と人権教育活動を推進する拠点であることから、老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、施設運営にあたっては、計画的に点検を実施することで、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・玄関引き戸交換 |
| | | 建築年 | 1975 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 45 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 159.88 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 420 | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

1. 市民サービス系施設

⑤スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ系施設）

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|--------------------|---------|-----------------------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 市民体育館 | 所管課 | スポーツ振興課 | 102 | 49.8 | 21.3 | 973 | 56.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 経年劣化による床面の剥離が生じているほか、照明の修繕が課題となっている。また、トイレの給排水に不具合が生じており、身障者用トイレが未設置となっている。 | 経年劣化の状況や緊急性を考慮し、修繕・改修を進め、施設機能の維持に努める。また、小まめな設備点検により、不良箇所を早期発見し費用の削減を図る。今後の施設運営は、設置年数や利用状況等により検討する。 【主な改修計画等】 ・床面張替 ・照明設備(LED化)改修 ・身障者トイレ設置 |
| | | 建築年 | 1969 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 51 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積(㎡) | 1,456.34 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数(人) | 30,990 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 城沼市民プール（管理更衣棟、トイレ） | 所管課 | スポーツ振興課 | 68 | 53.6 | 2.9 | 2,065 | 39.2 | 現況評価 | 政策的評価 | プール槽の表面劣化や床のひび割れがある。また、配管の漏水及びウォータースライダー用の螺旋階段の劣化が進んでいる。 | 経年劣化の状況や緊急性を考慮し、修繕・改修を進め、施設機能の維持に努める。また、小まめな設備点検により、不良箇所を早期発見し費用の削減を図る。今後の施設運営は、設置年数や利用状況等により検討する。 【主な改修計画等】 ・観客席基礎改修 ・事務所棟、更衣室棟外壁タイル落下防止ひさし設置 ・給排水管設備改修 ・電気設備更新 |
| | | 建築年 | 1986 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 34 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積(㎡) | 895.83 (11,480.00) | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数(人) | 32,851 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 3 | 城沼弓道場（射場、的場） | 所管課 | スポーツ振興課 | 10 | 60.1 | 6.7 | 0 | 53.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 他のスポーツ施設に比べて新しい施設で、安土の崩れや防矢ネットの破損はあるが、施設の機能について問題はない。 | 計画的な改修等により施設機能を維持し、小まめな点検等による維持管理に努めることで、施設の長期利用を図る。 |
| | | 建築年 | 2015 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 5 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積(㎡) | 202.74 (632.34) | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数(人) | 4,247 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | 城沼庭球場（管理棟、器具庫等） | 所管課 | スポーツ振興課 | 72 | 53.2 | 7.3 | 0 | 53.3 | 現況評価 | 政策的評価 | 照明設備の劣化が進んでいる。また、劣化の状況によっては、人工芝の張り替えが必要となる。 | 経年劣化の状況や緊急性を考慮し、修繕・改修を進め、施設機能の維持に努める。また、小まめな設備点検により、不良箇所を早期発見し費用の削減を図る。今後の施設運営は、設置年数や利用状況等により検討する。 【主な改修計画等】 ・夜間照明(LED化)改修 ・人工芝張替 |
| | | 建築年 | 1984 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 36 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積(㎡) | 232.00 (6,814.50) | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数(人) | 49,952 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-----------------|---------|-----------------------|---------|------|------------|------------|------|----------------------------|-------|--|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 5 | 城沼野球場（ベンチ、更衣室等） | 所管課 | スポーツ振興課 | 74 | 52.9 | 1.4 | 49 | 49.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 利用者の安全を考慮した外野フェンスへのクッション設置やグラウンドの改修が必要である。また、夜間照明や本部棟の改修、電光掲示板の設置も検討課題となっている。 | 経年劣化の状況や緊急性を考慮し、修繕・改修を進め、施設機能の維持に努める。また、小まめな設備点検により、不良箇所を早期発見し費用の削減を図る。今後の施設運営は、設置年数や利用状況等により検討する。 |
| | | 建築年 | 1983 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 37 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 339.80 (18,194.00) | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 25,311 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 6 | 城沼陸上競技場（スタンド） | 所管課 | スポーツ振興課 | 74 | 52.9 | 0.9 | 1 | 49.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 雨によりトラック部分がぬかるみやすく、使用できるまでに時間を要している。また、音響設備の劣化が進んでいる。本部棟が地盤沈下の影響を受けている。 | 経年劣化の状況や緊急性を考慮し、修繕・改修を進め、施設機能の維持に努める。また、小まめな設備点検により、不良箇所を早期発見し費用の削減を図る。今後の施設運営は、設置年数や利用状況等により検討する。 |
| | | 建築年 | 1983 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 37 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 177.40 (27,794.00) | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 25,010 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 7 | 城沼総合体育館 | 所管課 | スポーツ振興課 | 78 | 52.5 | 19.2 | 1,878 | 50.1 | 現況評価 | 政策的評価 | 建設から40年が経過しており、電気設備等の更新のほか、夏場の熱中症対策やバリアフリー化を進めるためのエレベーターの設置が検討課題となっている。 | 経年劣化の状況や緊急性を考慮し、修繕・改修を進め、施設機能の維持に努める。また、小まめな設備点検により、不良箇所を早期発見し費用の削減を図る。今後の施設運営は、設置年数や利用状況等により検討する。 |
| | | 建築年 | 1981 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 39 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 7,011.14 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 134,753 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 8 | 市営テニスコート（器具庫） | 所管課 | スポーツ振興課 | 200 | 38.9 | 0.5 | 0 | 49.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 水はけが悪く、雨天後の利用に時間を要する。また、アーチェリー用の防矢板が敷地内に設置されており、風雨による痛みが激しいことから、定期的な整備が必要となっている。 | 経年劣化の状況や緊急性を考慮し、修繕・改修を進め、施設機能の維持に努める。また、小まめな設備点検により、不良箇所を早期発見し費用の削減を図る。今後の施設運営は、設置年数や利用状況等により検討する。 |
| | | 建築年 | 1970 | | | | | | C | 高 | | |
| | | 経過年数 | 50 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 18.00 (2,832.00) | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 1,298 | | | | | | 維持保全 | | | |

1. 市民サービス施設

⑥スポーツ・レクリエーション系施設（レクリエーション系施設）

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|---------------|---------|-----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 駅前観光案内所 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 74 | 53.0 | 113.9 | 22,676 | 50.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 建物の老朽化が進んでいる。1階部分については、館林市観光協会に観光案内所の運営を委託しているが、2階、3階部分については活用ができていない状態。 | 施設の改修を行うことで、空きスペースになっている2階、3階部分を民間事業者に出し、駅前の賑わい創出及び街中への誘導、活性化を図っていく。 |
| | | 建築年 | 1992 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 28 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 93.25 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 10,621 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | サイクリングターミナル | 所管課 | つつじのまち観光課 | 54 | 55.2 | - | 106 | 67.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 利活用の方向性が決定するまでの間は必要最低限の維持管理を行う。 | 再開に向けて利活用の方向性、事業化の基本計画、公募条件の整理などを行いながら、併せて必要な都市計画の変更についても検討を進める。 |
| | | 建築年 | 1993 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 27 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | SRC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,587.04 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 3 | 旧秋元別邸 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 200 | 22.7 | - | 3,695 | 59.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1961 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 59 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 417.05 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | つつじが岡ふれあいセンター | 所管課 | つつじのまち観光課 | 66 | 53.8 | 13.4 | 988 | 50.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 雨漏り箇所があるため修繕を検討する。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1987 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 33 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,903.35 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 25,412 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|----------------|---------|-----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 5 | つつじが岡公園正面券売所 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 96 | 50.5 | - | 13,131 | 39.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1997 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 23 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 106.81 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 6 | つつじが岡公園観光案内所 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 38 | 57.0 | - | 13,771 | 37.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設である。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 2011 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 9 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 101.85 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 7 | つつじが岡公園総合管理事務所 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 92 | 50.9 | - | 13,945 | 37.3 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいるため、改修、修繕などを計画的に行い、施設保全に努める。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1985 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 35 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 381.50 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 8 | つつじが岡公園旧管理事務所 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 74 | 52.9 | - | 977 | 65.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1983 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 37 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 373.54 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 | |
|----|--------------------|---------|-----------|---------|------|------------|------------|------|-------------|-------|--|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | | | | | 偏差値 |
| 9 | つつじが岡公園（花山）公衆トイレ1号 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 138 | 45.8 | - | 5,061 | 56.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1987 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 33 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 74.95 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 10 | つつじが岡公園（花山）公衆トイレ2号 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 108 | 49.1 | - | 7,720 | 50.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 借地である。今後廃止の方向で検討を進める。 |
| | | 建築年 | 1994 | | | | | | B I | 低 | | |
| | | 経過年数 | 26 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 49.14 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 廃止 | | | |
| 11 | つつじが岡公園（花山）公衆トイレ3号 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 129 | 46.8 | - | 14,535 | 36.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | つつじまつりの期間以外は使用していない、かつ、近くに4号トイレがあるため、廃止の方向で検討を進める。 |
| | | 建築年 | 1989 | | | | | | C | 低 | | |
| | | 経過年数 | 31 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 26.10 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 廃止 | | | |
| 12 | つつじが岡公園（花山）公衆トイレ4号 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 108 | 49.1 | - | 7,333 | 51.8 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1994 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 26 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 51.73 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 | |
|----|--------------------|---------|-----------|---------|------|------------|------------|------|----------------------------|-------|--|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | | | | | 偏差値 |
| 13 | つつじが岡公園（花山）公衆トイレ5号 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 108 | 49.1 | - | 6,212 | 54.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1994 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 26 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 61.07 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 14 | つつじが岡公園（花山）公衆トイレ6号 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 108 | 49.1 | - | 8,729 | 48.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1994 | | | | | | C | 高 | | |
| | | 経過年数 | 26 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 43.46 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 15 | つつじが岡公園（花山）公衆トイレ7号 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 108 | 49.1 | - | 8,485 | 49.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1994 | | | | | | C | 高 | | |
| | | 経過年数 | 26 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 44.71 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 16 | つつじが岡公園（花山）公衆トイレ8号 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 74 | 52.9 | - | 11,105 | 43.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1983 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 37 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 34.16 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|--------------------|---------|-----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 17 | つつじが岡公園（花山）公衆トイレ9号 | 所管課 | つつじのまち観光課 | 90 | 51.1 | - | 7,226 | 52.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 建築後の経過年数から、建物の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要となっている。 | 施設の修繕、改修を順次行い長期利用を図る。計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで費用の削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1983 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 37 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | CB造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 52.50 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

1. 市民サービス系施設

⑦産業系施設

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-------------|---------|-----------|---------|------|------------|------------|------|-------------|-------|---|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 勤労者会館 | 所管課 | 産業政策課 | 134 | 30.1 | 1.9 | 93 | 40.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 建物の老朽化が進んでいる。耐震化をしていないため、市での維持管理が困難となっている。必要に応じて水回りなどの修繕を行っている。 | 売却も含め、今後の廃止に向けた協議を行っている。 |
| | | 建築年 | 1969 | | | | | | C | 低 | | |
| | | 経過年数 | 51 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 327.75 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 609 | | | | | | 廃止 | | | |
| 2 | 産業振興センター | 所管課 | 財政課 | 116 | 32.1 | 2.3 | 3 | 50.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 貸付施設である。建物の老朽化が進んでいる。 | 老朽化しており、異常箇所があれば修繕を行う。現段階では建替え等の予定はなく、現状維持の方針。 |
| | | 建築年 | 1962 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 58 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,326.87 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 3,027 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 3 | 館林地区高等職業訓練校 | 所管課 | 財政課/産業政策課 | 200 | 22.7 | 4.4 | 0 | 58.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 貸付施設である。建物の老朽化が進んでおり、必要に応じて借受人にて修繕等を行っている。 | 老朽化しているが、現段階では建て替えの予定はない。 |
| | | 建築年 | 1926 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 94 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 195.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 860 | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

1. 市民サービス系施設

⑧学校教育系施設

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 第一小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 100 | 50.0 | 0.09 | 326 | 59.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり、計画的な改修が必要。東側ブロック塀も同様である。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1970 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 50 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,355.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 553 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 第二小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 102 | 49.8 | 0.06 | 351 | 51.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1968 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 51 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 5,468.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 319 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 3 | 第三小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 66 | 53.8 | 0.06 | 353 | 51.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。また、トイレと南側ブロック塀も同様である。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・普通教室棟トイレ改修 |
| | | 建築年 | 1987 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 33 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,018.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 358 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | 第四小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 62 | 54.3 | 0.01 | 437 | 35.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。また、西側ブロック塀も同様である。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1989 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 31 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 4,938.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 66 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 | |
|----|-------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|---|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | | |
| 5 | 第五小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 88 | 51.4 | 0.08 | 464 | 48.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。南側ブロック塀も同様である。また、体育館が老朽化しており大規模な改修が必要。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 | 【主な改修計画等】 ・屋内運動場大規模改修 |
| | | 建築年 | 1976 | | | | | | B II | 高 | | | |
| | | 経過年数 | 44 | | | | | | 基本となる方向性 | | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 4,394.00 | | | | | | 整備手法 | | | | |
| | | 利用者数（人） | 353 | | | | | | 維持保全 | | | | |
| 6 | 第六小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 94 | 50.7 | 0.05 | 326 | 52.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 | 【主な改修計画等】 ・管理教室棟トイレ改修 |
| | | 建築年 | 1973 | | | | | | A | 高 | | | |
| | | 経過年数 | 47 | | | | | | 基本となる方向性 | | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,114.00 | | | | | | 整備手法 | | | | |
| | | 利用者数（人） | 322 | | | | | | 維持保全 | | | | |
| 7 | 第七小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 86 | 51.6 | 0.04 | 444 | 39.8 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。また、トイレが老朽化している。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 | 【主な改修計画等】 ・管理教室棟トイレ改修 |
| | | 建築年 | 1977 | | | | | | B II | 高 | | | |
| | | 経過年数 | 43 | | | | | | 基本となる方向性 | | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 4,255.00 | | | | | | 整備手法 | | | | |
| | | 利用者数（人） | 149 | | | | | | 維持保全 | | | | |
| 8 | 第八小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 90 | 51.2 | 0.08 | 321 | 58.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。また、トイレが老朽化している。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 | 【主な改修計画等】 ・管理棟トイレ改修 ・教室棟トイレ改修 ・特別教室棟トイレ改修 |
| | | 建築年 | 1975 | | | | | | A | 高 | | | |
| | | 経過年数 | 45 | | | | | | 基本となる方向性 | | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,679.00 | | | | | | 整備手法 | | | | |
| | | 利用者数（人） | 519 | | | | | | 維持保全 | | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 9 | 第九小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 82 | 52.0 | 0.05 | 507 | 39.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。また、トイレが老朽化している。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1978 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 41 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 3,676.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 190 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 10 | 第十小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 82 | 52.0 | 0.08 | 346 | 57.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 大規模改修を実施済みであり、比較的状态はよいが劣化状況に応じた計画的な改修が必要。南側ブロック塀も同様である。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1979 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 41 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,580.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 551 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 11 | 美園小学校 | 所管課 | 教育総務課 | 58 | 54.7 | 0.06 | 289 | 57.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。また、トイレが老朽化している。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1990 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 29 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,991.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 444 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 12 | 第一中学校 | 所管課 | 教育総務課 | 86 | 51.6 | 0.05 | 239 | 51.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。また、柔剣道場が老朽化しており、計画的な改修が必要。東・南ブロック塀も同様である。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1977 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 43 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 8,685.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 420 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|--------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 13 | 第二中学校 | 所管課 | 教育総務課 | 34 | 57.4 | 0.04 | 337 | 37.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。また、柔剣道場が老朽化しており、計画的な改修が必要。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 2002 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 17 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,885.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 259 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 14 | 第三中学校 | 所管課 | 教育総務課 | 100 | 50.0 | 0.06 | 221 | 57.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・普通教室棟外壁改修 ・特別教室棟外壁改修 |
| | | 建築年 | 1970 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 50 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,791.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 413 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 15 | 第四中学校 | 所管課 | 教育総務課 | 70 | 53.4 | 0.07 | 274 | 56.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり計画的な改修が必要。また、トイレが老朽化している。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・トイレ改修 |
| | | 建築年 | 1984 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 35 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 7,425.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 523 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 16 | 多々良中学校 | 所管課 | 教育総務課 | 80 | 52.3 | 0.06 | 329 | 47.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 大規模改修を実施済みであり、比較的状态はよいが劣化状況に応じた計画的な改修が必要。 | 学校教育施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1980 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 40 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,083.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 378 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|----------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--------------------|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 17 | 教育研究所 | 所管課 | 教育総務課 | 114 | 48.5 | - | 193 | 54.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、雨漏りが発生している。 | 教育研究時事業や教育相談事業を中心とした運営を行っており、老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、ライフサイクルコストの削減を図る。 |
| | | 建築年 | 1963 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 57 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 302.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 18 | 学校給食センター | 所管課 | 学校給食センター | 5 | 60.6 | - | - | - | 現況評価 | 政策的評価 | 状態はよい。 | 2018年から2033年については、PFI事業契約における維持管理・運営期間であるため、維持管理・運営はPFI事業者が行い、市はモニタリングを行う。2030年頃より期間終了後における対応をPFI事業者と協議していく。 |
| | | 建築年 | 2018 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 2 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 3,666.62 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

1. 市民サービス系施設

⑨子育て支援施設

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 北幼稚園 | 所管課 | 教育総務課 | 64 | 54.1 | 0.09 | 773 | 61.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり、計画的な改修が必要。西側ブロック塀も同様である。 | 学校施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。今後、認定こども園の計画を踏まえ、園舎の老朽化対策を検討する。 |
| | | 建築年 | 1988 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 32 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,246.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 106 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 南幼稚園 | 所管課 | 教育総務課 | 74 | 52.9 | 0.06 | 1,016 | 49.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり、計画的な改修が必要。 | 学校施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。今後、認定こども園の計画を踏まえ、園舎の老朽化対策を検討する。 |
| | | 建築年 | 1983 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 37 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 963.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 59 | | | | | | 再編 | | | |
| 3 | 東幼稚園 | 所管課 | 教育総務課 | 68 | 53.6 | 0.04 | 1,561 | 34.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり、計画的な改修が必要。 | 学校施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。今後、認定こども園の計画を踏まえ、園舎の老朽化対策を検討する。 |
| | | 建築年 | 1986 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 34 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 608.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 25 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | 杉並幼稚園 | 所管課 | 教育総務課 | 92 | 50.9 | 0.06 | 873 | 51.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり、計画的な改修が必要。 | 学校施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。今後、認定こども園の計画を踏まえ、園舎の老朽化対策を検討する。 |
| | | 建築年 | 1974 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 46 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,103.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 65 | | | | | | 再編 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | 施設状態等 | 今後の計画 | |
|----|-------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 5 | 西幼稚園 | 所管課 | 教育総務課 | 78 | 52.5 | 0.06 | 879 | 52.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化のため、建物外壁、屋根及び内装（床、壁）の劣化があり、計画的な改修が必要。 | 学校施設は教育環境として重要な施設であり、地域の避難場所となることから、大規模改修及び長寿命化改修を順次行う。今後、認定こども園の計画を踏まえ、園舎の老朽化対策を検討する。 |
| | | 建築年 | 1981 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 39 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,080.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 69 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 6 | 南保育園 | 所管課 | こども福祉課 | 74 | 52.9 | 0.19 | 234 | 65.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでおり、雨漏り修繕や便器の洋式化等の修繕・工事を適宜行っている。平成29年度には乳幼児室の増築をはじめ大規模な改修を実施。 | 隣接する南幼稚園との一体的な利用を図ることを念頭に置き、認定こども園化に向けて教育委員会と協議し、施設整備計画を立てる。年度毎の施設改修など、計画的な保全を行う。 |
| | | 建築年 | 1983 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 37 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 488.11 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 95 | | | | | | 再編 | | | |
| 7 | 東保育園 | 所管課 | こども福祉課 | 62 | 54.3 | 0.14 | 723 | 50.8 | 現況評価 | 政策的評価 | 小規模な修繕・工事を行いながら維持管理を行っている。当該地域は地盤沈下の影響が大きいとため、堰堤や外構部分においての修繕・工事に費用を要している。 | 老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。地盤沈下に伴い園舎にもゆがみが出始めているため、大規模な改修が必要となる。 |
| | | 建築年 | 1989 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 31 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 758.35 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 105 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 8 | 六郷保育園 | 所管課 | こども福祉課 | 86 | 51.6 | 0.11 | 204 | 53.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでおり、雨漏り修繕や便器の洋式化等の修繕・工事を適宜行っている。今後は壁・床・天井及び給排水設備の改修や非常階段の躯体改修など、大規模改修費用の増加が見込まれる。 | 少子化の影響と保育園の大規模改修の費用対効果を比較検討、隣接する杉並幼稚園との一体的な利用を図ることを念頭に置き、認定こども園化に向けて教育委員会と協議し、施設整備計画を立てる。年度毎の施設改修など、計画的な保全を行う。 |
| | | 建築年 | 1977 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 43 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,071.40 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 123 | | | | | | 再編 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | 施設状態等 | 今後の計画 | |
|----|--------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 9 | 多々良保育園 | 所管課 | こども福祉課 | 66 | 53.8 | 0.12 | 474 | 51.1 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでおり、屋根全面の防水工事が必要になっている。また、自動火災報知設備の修繕等、各種設備の更新も継続的に行っている状況である。 | 老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。雨漏りがひどくなっているため、大規模な雨漏り対策を検討する。 【主な改修計画等】 ・屋上防水改修 ・調理室空調設備改修 |
| | | 建築年 | 1987 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 33 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 468.53 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 56 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 10 | 渡瀬保育園 | 所管課 | こども福祉課 | 50 | 55.6 | 0.09 | 343 | 48.8 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設であり、設備的な修繕を行いながら、維持管理をしている。 | 計画的に老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図り、民営化に備える。 【主な改修計画等】 ・GHP空調設備改修 |
| | | 建築年 | 2001 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 19 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 980.30 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 92 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 11 | 美園保育園 | 所管課 | こども福祉課 | 44 | 56.3 | 0.10 | 1,146 | 40.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設であるが、厨房機器や空調設備などの老朽化に伴う不具合が出始めており、修繕や定期的なメンテナンスを行いながら維持管理をしている。 | 老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 【主な改修計画等】 ・空調設備改修 |
| | | 建築年 | 1998 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 22 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 962.14 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 99 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 12 | 成島保育園 | 所管課 | こども福祉課 | 45 | 56.2 | 0.10 | 985 | 41.1 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設であるが、園庭の敷地面積も広く、樹木管理や小規模な修繕も行っている。 | 老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図り、民営化に備える。 |
| | | 建築年 | 2003 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 17 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,428.52 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 138 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-----------------------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------------------------|-------|--|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 13 | 長良保育園 | 所管課 | こども福祉課 | 88 | 51.4 | 0.08 | 838 | 40.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が著しく、大規模な改修が必要になっている。 | 借地であるため、近隣にある北幼稚園との一体的な利用も念頭に置き、認定こども園化に向けて教育委員会と協議する。令和5年3月末で園舎の利用を停止、既存園舎の解体と敷地の返還を進める。 |
| | | 建築年 | 1976 | | | | | | B II | 低 | | |
| | | 経過年数 | 44 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,052.33 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 88 | | | | | | 廃止 | | | |
| 14 | 松波保育園 | 所管課 | こども福祉課 | 108 | 49.2 | 0.13 | 970 | 46.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 平成24年度に大規模な耐震改修工事を実施済み。小規模な修繕や各種設備の定期的なメンテナンスを行いながら維持管理している。 | 老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。また、計画的に点検を実施し、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 1979 | | | | | | C | 高 | | |
| | | 経過年数 | 41 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 699.62 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 93 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 15 | 三野谷保育園（認定こども園 MINOYA） | 所管課 | こども福祉課 | 54 | 55.2 | 0.15 | 0 | 61.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 平成18年度の民営化により、社会福祉法人が施設の維持・保全を行っている。 | 社会福祉法人と、建物の譲渡について協議を進める。 |
| | | 建築年 | 1993 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 27 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 861.05 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 128 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 16 | 児童センター | 所管課 | こども福祉課 | 76 | 52.7 | 42.0 | 997 | 43.1 | 現況評価 | 政策的評価 | ガスエアコンの老朽化で、修繕不能部分があり、新規エアコン設置が急務となっている。 | 児童の居場所、親子のふれあいの場であることから老朽設備を順次改修して、施設の存続を図る。職員による日常点検、業者による保守点検を行い、危険箇所の早期発見に努める。 【主な改修計画等】 ・空調設備改修 ・2階トイレ洋式化 ・遊具の新設 |
| | | 建築年 | 1982 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 38 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 737.37 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 30,961 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-----------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 17 | 西児童館 | 所管課 | こども福祉課 | 64 | 54.1 | 104.2 | 611 | 61.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 玄関ドアの老朽化が著しく、改修が必要となっている。また、事務室空調設備、大型遊具、天井照明が老朽化している。 | 児童の居場所、親子のふれあいの場であることから、老朽設備を順次改修して、施設の存続を図る。職員による日常点検、業者による保守点検を行い、危険箇所の早期発見に努める。 |
| | | 建築年 | 1988 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 32 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 362.79 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 37,804 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 18 | 赤羽児童館 | 所管課 | こども福祉課 | 71 | 53.3 | 45.8 | 920 | 45.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化により照明器具の劣化が進んでいるため、LED化の工事が必要となっている。また来館者の安全確保のため、設置遊具の修繕や冷暖房設備の改修が必要。 | 児童の居場所、親子のふれあいの場であることから、老朽設備を順次改修して、施設の存続を図る。職員による日常点検、業者による保守点検を行い、危険箇所の早期発見に努める。 |
| | | 建築年 | 1993 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 27 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 420.72 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 19,272 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 19 | わたらせ学童クラブ | 所管課 | こども福祉課 | 25 | 58.4 | 0.37 | 323 | 32.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設である。 | 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 |
| | | 建築年 | 2014 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 6 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 158.99 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 59 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 20 | 赤羽児童クラブ | 所管課 | こども福祉課 | 38 | 57.0 | 0.59 | 0 | 53.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設である。 | 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 |
| | | 建築年 | 2011 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 9 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 117.59 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 70 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-------------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--------------|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 21 | みのやレインボークラブ | 所管課 | こども福祉課 | 38 | 57.0 | 0.38 | 0 | 48.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設である。 | 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 |
| | | 建築年 | 2011 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 9 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 117.59 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 45 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 22 | 元気っ子児童クラブ | 所管課 | こども福祉課 | 75 | 52.8 | 0.86 | 0 | 59.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。 | 老朽化により照明器具の劣化が進んでいるため、LED化の工事が必要となっている。また来館者の安全確保のため、設置遊具の修繕や冷暖房設備の改修が必要。 |
| | | 建築年 | 2002 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 18 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 81.15 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 70 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 23 | 第二元気っ子児童クラブ | 所管課 | こども福祉課 | 46 | 56.1 | 0.71 | 0 | 56.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設である。 | 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 |
| | | 建築年 | 2009 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 11 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 99.37 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 71 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 24 | 第1美園学童クラブ | 所管課 | こども福祉課 | 83 | 51.9 | 0.35 | 0 | 48.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。 | 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 |
| | | 建築年 | 2000 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 20 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 99.37 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 35 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-----------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------------------------|-------|--------------|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 25 | 第2美園学童クラブ | 所管課 | こども福祉課 | 50 | 55.6 | 0.35 | 0 | 48.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設である。 | 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 |
| | | 建築年 | 2008 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 12 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 92.75 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 32 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 26 | 風の子クラブ | 所管課 | こども福祉課 | 67 | 53.8 | 0.91 | 0 | 60.3 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。 | 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 |
| | | 建築年 | 2004 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 16 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 101.02 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 92 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 27 | ひまわりクラブ | 所管課 | こども福祉課 | 200 | 38.9 | 0.20 | 0 | 45.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。 | 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 |
| | | 建築年 | 1970 | | | | | | C | 高 | | |
| | | 経過年数 | 50 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 142.43 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 29 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 28 | あすなろ学童クラブ | 所管課 | こども福祉課 | 34 | 57.4 | 0.45 | 0 | 50.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設である。 | 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 |
| | | 建築年 | 2007 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 13 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 125.92 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 57 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|----------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|-------|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 29 | 三小東学童クラブ | 所管課 | こども福祉課 | 17 | 59.3 | 0.33 | 0 | 47.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設である。 施設使用者の定期的な自主点検により異常の早期発見に努める。軽微な修繕等については、学童クラブにおいて適宜行い、躯体に関わるなど大規模な工事等については、市で対応する。 | |
| | | 建築年 | 2016 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 4 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 214.06 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 71 | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

1. 市民サービス系施設

⑩保健・福祉施設

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|--------------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 障がい者総合支援センター | 所管課 | 社会福祉課 | 16 | 59.4 | 10.9 | 3,662 | 47.3 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的状態はよい。 | 障がい児（者）を総合的に支援する施設として、予防保全を行いながら長期利用を図る。施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減を図るため、日常点検、業務点検により適切な保守・維持管理に努める。 |
| | | 建築年 | 2014 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 6 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,281.91 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 13,977 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 総合福祉センター | 所管課 | 社会福祉課 | 54 | 55.2 | 11.4 | 1,285 | 60.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 館内及びプール棟の配管及び空調等の設備の老朽化が著しく、計画的な更新が必要である。 | 地域福祉の拠点施設として、老朽設備の改修を順次行う。施設運営では、予防保全に努め費用の縮減を図る。大規模改修の際にはユニバーサルデザイン化やPFI方式を検討する。 【主な改修計画等】 ・空調設備改修 ・本館給水給湯配管工事 ・外壁補修 ・館内照明設備交換 |
| | | 建築年 | 1993 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 27 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 4,771.80 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 54,591 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 3 | 保健センター | 所管課 | 健康推進課 | 76 | 52.7 | 10.0 | 3,178 | 43.9 | 現況評価 | 政策的評価 | エレベーター設備等が老朽化している。蛍光灯のLED化が完了していない。 | 市民に対し健康相談、保健指導及び健康診断など、地域保健に関する必要な事業を行う施設であることから、老朽設備の改修を順次行い、施設の存続・長期利用を図る。 【主な改修計画等】 ・照明LED化工事 |
| | | 建築年 | 1982 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 38 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,230.62 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 12,274 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | 老人福祉センター | 所管課 | 高齢者支援課 | 76 | 52.7 | 9.6 | 1,411 | 48.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設老朽化に伴い、緊急的に修繕が必要な場合が出てきている。 | 老人福祉センターは、高齢者への講座やセミナーを通じた生きがいづくりの場の提供や、健康寿命延伸を目指した介護予防事業の場として重要な役割を担っていることから老朽設備の改修・更新などを行いながら施設の長寿命化、長期利用を図る。 【主な改修計画等】 ・照明LED化工事 |
| | | 建築年 | 1982 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 38 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,275.77 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 12,188 | | | | | | 維持保全 | | | |

1. 市民サービス系施設

①医療施設

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 | |
|----|---------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---------------------------------------|--|------------------------|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | | |
| 1 | 夜間急病診療所 | 所管課 | 健康推進課 | 74 | 52.9 | 7.0 | 973 | 49.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでおり、大雨時に屋内の一部の床から水がしみだしてることがある。 | 夜間の急な疾病などの応急処置を行うことができる施設として建替えが行われるまでは、不具合箇所が生じた場合には修繕を行う。計画的な点検を実施し突発的な修繕を未然に防止する。 | 【主な改修計画等】 ・照明LED化工事 |
| | | 建築年 | 1983 | | | | | | B II | 高 | | | |
| | | 経過年数 | 37 | | | | | | 基本となる方向性 | | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 220.00 | | | | | | 整備手法 | | | | |
| | | 利用者数（人） | 1,530 | | | | | | 維持保全 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

2. 行政事務系施設

①行政系施設

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 | |
|----|-----------|---------|-----------|---------|------|------------|------------|------|----------------------------|-------|--|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | | | | | 偏差値 |
| 1 | 市庁舎 | 所管課 | 財政課 | 78 | 52.5 | - | 5,983 | 43.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 令和元年度及び2年度に耐震改修工事を実施したが、建設当初から40年近く経過しているため、外壁や空調設備等、様々な箇所での改修が必要となっている。 | 施設の長寿命化のため、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの削減と費用の平準化を図っていく。 【主な改修計画等】 ・外壁改修 ・エレベーター改修 |
| | | 建築年 | 1981 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 39 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 10,527.64 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 市民センター | 所管課 | 財政課 | 114 | 48.5 | - | 7,353 | 39.3 | 現況評価 | 政策的評価 | 旧館林市庁舎であり、現在は複数の団体が間借りしている状況。老朽化が進んでおり、床面、外壁等補修が必要な箇所がある。 | 今後の具体的な方針が決定されるまでは不具合箇所の修繕を行い、施設の存続及び長期利用を図る。計画的な点検を実施し、突発的な修繕を未然に防止する。 |
| | | 建築年 | 1963 | | | | | | C | 高 | | |
| | | 経過年数 | 57 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,965.04 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 3 | 市民センター分室 | 所管課 | 財政課 | 172 | 25.8 | - | 1,111 | 59.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 建物の老朽化が進んでいる。 | 今後の具体的な方針が決定されるまでは不具合箇所の修繕を行い、施設の存続及び長期利用を図る。計画的な点検を実施し、突発的な修繕を未然に防止する。 |
| | | 建築年 | 1934 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 86 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 355.46 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | 駅西區画整理事務所 | 所管課 | 區画整理課 | 26 | 58.3 | - | 1,386 | 58.1 | 現況評価 | 政策的評価 | 比較的新しい施設であることから状態がよい。電話交換機は旧事務所より移設したものであるため、交換や修繕が必要となっている。 | 施設の存続・長期利用を図る。施設運営にあたっては、計画的に点検を実施し、ライフサイクルコストの削減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 2010 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 10 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 329.60 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |

3. 生活基盤系施設

①公園

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|-----------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------------------------|-------|---------------------|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 多々良沼野鳥観察棟 | 所管課 | 地球環境課 | 117 | 48.2 | - | 3,350 | 49.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 現状は使用に伴う問題は発生していない。 | 多々良沼が日本遺産に登録されたことから、情報発信の拠点となるような施設とする。 |
| | | 建築年 | 1992 | | | | | | C | 高 | | |
| | | 経過年数 | 28 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 102.06 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

3. 生活基盤系施設

②市営住宅

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 状態等 | 今後の計画 |
|----|--------------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|-------------|-------|--|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 西本町住宅 | 所管課 | 建築課 | 200 | 22.7 | - | 251 | 53.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。一部の更地について、樹木等の維持管理が必要。 | 現状は入居者がいるため、解体が出来ていない。入居者が退去後、建物を除却する方針。 |
| | | 建築年 | 1952 | | | | | | B I | 低 | | |
| | | 経過年数 | 68 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 86.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 1 | | | | | | 廃止 | | | |
| 2 | 西美園町住宅 | 所管課 | 建築課 | 200 | 22.7 | - | 4,045 | 14.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。一部の更地について、樹木等の維持管理が必要。地区に一部貸出しをしている。 | 現状は入居者がいるため、解体が出来ていない。入居者の退去後、建物を除却する方針。 |
| | | 建築年 | 1955 | | | | | | C | 低 | | |
| | | 経過年数 | 65 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 55.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 2 | | | | | | 廃止 | | | |
| 3 | 広内町住宅（第1～第3） | 所管課 | 建築課 | 200 | 22.7 | - | 0 | 55.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。一部の更地について、樹木等の維持管理が必要。地区に一部貸出しをしている。 | 現状は入居者がいるため、解体が出来ていない。入居者の退去後、建物を除却する方針。 【主な改修計画等】 ・広内町住宅(1棟)解体 |
| | | 建築年 | 1957 | | | | | | B I | 低 | | |
| | | 経過年数 | 63 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 333.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 17 | | | | | | 廃止 | | | |
| 4 | 高根町住宅（第1～第2） | 所管課 | 建築課 | 124 | 31.2 | - | 0 | 55.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。入居者が多数いるため、修繕等の費用対効果が課題。 | 将来的に用途廃止を検討しているため、維持管理は必要最低限を行う。入居者の退去後、建物を除却する方針。 |
| | | 建築年 | 1969 | | | | | | B I | 低 | | |
| | | 経過年数 | 51 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | CB造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,033.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 44 | | | | | | 廃止 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 状態等 | 今後の計画 |
|----|--------------|---------|-----------|---------|------|------------|------------|------|-------------|-------|---|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 5 | 近藤町住宅（第1～第5） | 所管課 | 建築課 | 120 | 31.7 | - | 205 | 53.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。入居者が多数いるため、修繕等の費用対効果が課題。 | 将来的に用途廃止を検討しているため、維持管理は必要最低限を行う。入居者の退去後、建物を除却する方針。 |
| | | 建築年 | 1971 | | | | | | B I | 低 | | |
| | | 経過年数 | 49 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | CB造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 3,865.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 118 | | | | | | 廃止 | | | |
| 6 | 朝日町住宅 | 所管課 | 建築課 | 110 | 32.8 | - | 200 | 53.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。西側及び南側のブロック塀の改修が必要。 | 将来的に用途廃止を検討しているため、維持管理は必要最低限を行う。西側、南側のブロック塀は除却する。 【主な改修計画等】 ・ブロック塀撤去工事 |
| | | 建築年 | 1975 | | | | | | B I | 低 | | |
| | | 経過年数 | 45 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | CB造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 996.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 14 | | | | | | 廃止 | | | |
| 7 | 東部住宅（第1～第10） | 所管課 | 建築課 | 88 | 35.2 | - | 170 | 53.8 | 現況評価 | 政策的評価 | 入居率が低く、空き部屋が目立つ。污水处理施設が1か所に集約されており、老朽化により多額の修繕費用が掛かる。 | 将来的に団地内の一部の住宅を用途廃止し、集約化を図る。 【主な改修計画等】 ・水道メーター取替 ・風呂釜取替工事 ・外壁改修、屋上防水 |
| | | 建築年 | 1976 | | | | | | B I | 低 | | |
| | | 経過年数 | 44 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 16,433.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 337 | | | | | | 再編 | | | |
| 8 | 松原住宅（第1～第2） | 所管課 | 建築課 | 66 | 53.8 | - | 345 | 52.1 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいるが、立地が比較的良好、入居者も多いが、駐車場が不足している。 | 耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。 【主な改修計画等】 ・駐車場増設工事 |
| | | 建築年 | 1987 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 33 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 2,565.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 80 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|---------------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 9 | 上三林町住宅（第1～第4） | 所管課 | 建築課 | 64 | 54.1 | - | 224 | 53.3 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。 入居率が低く、空き部屋が目立っている。 | 将来的に団地内の一部の住宅を用途廃止し、集約化を図る。 【主な改修計画等】 ・水道メーター取替 ・風呂釜取替工事 ・外壁改修 |
| | | 建築年 | 1988 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 32 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 6,513.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 127 | | | | | | 再編 | | | |
| 10 | 若宮町住宅（第1～第4） | 所管課 | 建築課 | 58 | 54.7 | - | 390 | 51.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいるが、立地が比較的良好、入居者も多い。 | 耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。 【主な改修計画等】 ・水道メーター取替 ・インターホン設置 ・浴室改修、給水改修 ・給湯器取替 |
| | | 建築年 | 1991 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 29 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 5,804.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 147 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 11 | 足次町住宅（第1～第2） | 所管課 | 建築課 | 56 | 55.0 | - | 719 | 48.3 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。また、空き家が目立つようになっているが、駐車場が不足している。 | 耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。借地のため、状況に応じて用途廃止の前倒しを検討する。 【主な改修計画等】 ・駐車場増設工事 ・外壁改修、屋上防水、給水改修 |
| | | 建築年 | 1992 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 28 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 2,998.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 78 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 12 | 日向町第2住宅 | 所管課 | 建築課 | 54 | 55.2 | - | 637 | 49.1 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。 | 耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。借地のため、状況に応じて用途廃止の前倒しを検討する。 【主な改修計画等】 ・外壁改修 ・屋上防水 ・給水改修 ・給湯器取替 |
| | | 建築年 | 1993 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 27 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,291.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 38 | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 状態等 | 今後の計画 |
|----|--------------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|------------------------|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 13 | 松沼町住宅（第1～第2） | 所管課 | 建築課 | 50 | 55.6 | - | 134 | 54.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。 | 耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。 【主な改修計画等】 ・外壁改修、屋上防水、給水改修 ・給湯器取替 |
| | | 建築年 | 1995 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 25 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 8,864.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 179 | | | | | | 維持保全 | | | |
| 14 | 栄町住宅 | 所管課 | 建築課 | 34 | 57.4 | - | 379 | 51.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいるため、外壁の劣化が目立つ。 | 耐用年数までの活用を図り、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に維持管理していく。 【主な改修計画等】 ・外装改修 |
| | | 建築年 | 2003 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 17 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 3,904.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | 84 | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

3. 生活基盤系施設

③下水道施設

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|------------------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 多々良沼雨水ポンプ場 | 所管課 | 下水道課 | 58 | 54.7 | - | 6,387 | 58.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 機械設備の老朽化に伴い、計画的な修繕及び更新が必要。 | 建物等の耐用年数を見据え、更新計画の作成を進める。 【主な改修計画等】 ・排水ポンプ1台整備 ・真空ポンプ1台交換 |
| | | 建築年 | 1991 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 29 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 145.41 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 分福地域し尿処理施設 | 所管課 | 下水道課 | 72 | 53.2 | - | 13,568 | 42.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 機械設備の老朽化に伴い、計画的な修繕及び更新が必要。不明水の流入に伴う排水能力不足が見受けられる。 | 包括的民間委託を導入済みのため、現在の管理形態を継続する。計画的な点検、調査、修繕及び改築を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。公共下水道との集約化（統廃合）の検討を進める。 【主な改修計画等】 ・機械機器類交換及び補修 |
| | | 建築年 | 1984 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 36 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 660.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 3 | 大島地域し尿処理施設 | 所管課 | 下水道課 | 50 | 55.6 | - | 5,336 | 61.3 | 現況評価 | 政策的評価 | 機械設備の老朽化に伴い、計画的な修繕及び更新が必要。 | 包括的民間委託を導入済みのため、現在の管理形態を継続する。計画的な点検、調査、修繕及び改築を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。公共下水道との集約化（統廃合）の検討を進める。 【主な改修計画等】 ・機械機器類交換及び補修 |
| | | 建築年 | 1995 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 25 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 425.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | 下早川田地区農業集落排水処理施設 | 所管課 | 下水道課 | 42 | 56.5 | - | 10,787 | 49.0 | 現況評価 | 政策的評価 | 機械設備の老朽化に伴い、計画的な修繕及び更新が必要。 | 包括的民間委託を導入済みのため、現在の管理形態を継続する。計画的な点検、調査、修繕及び改築を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。公共下水道との集約化（統廃合）の検討を進める。 【主な改修計画等】 ・機械機器類交換及び補修 |
| | | 建築年 | 1999 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 21 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 427.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|----------------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|----------------------------|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 5 | 木戸地区農業集落排水処理施設 | 所管課 | 下水道課 | 30 | 57.9 | - | 15,538 | 38.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 機械設備の老朽化に伴い、計画的な修繕及び更新が必要。 | 包括的民間委託を導入済みのため、現在の管理形態を継続する。計画的な点検、調査、修繕及び改築を実施し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。公共下水道との集約化（統廃合）の検討を進める。 【主な改修計画等】 ・機械機器類交換及び補修 |
| | | 建築年 | 2005 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 15 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 292.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

4. その他施設

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|----------------|---------|------------------|---------|------|------------|------------|------|-------------|-------|---|--|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 1 | 館林東西駅前広場連絡通路 | 所管課 | 財政課 | 29 | 58.0 | - | 8,973 | 46.9 | 現況評価 | 政策的評価 | 雨漏りの影響で天井板が劣化している箇所がある。オートリレーが一部下らない部分があり、電球交換が不可である。 | 館林東西駅前広場連絡通路点検修繕管理表に基づき、日常点検と予防保全的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図る。 【主な改修計画等】 ・照明LED化工事 |
| | | 建築年 | 2009 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 11 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,008.46 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 2 | 館林駅東口自転車駐車場管理棟 | 所管課 | 安全安全課 | 104 | 49.6 | - | 5,507 | 50.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 施設全体が老朽化している。利用者数及び収入が減少している。 | 放置自転車の数の減少や民間駐輪場との競合を踏まえると、放置自転車対策として設置された当初の役割を果たしたものとして、業務の見直しを行い、将来的に廃止する方向で検討する。 |
| | | 建築年 | 1995 | | | | | | B I | 低 | | |
| | | 経過年数 | 25 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 再編・廃止について検討 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 2.33 (350.00) | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 廃止 | | | |
| 3 | 斎場 | 所管課 | 市民課 | 95 | 50.6 | - | 30,519 | 23.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 完成から30年以上経過しており、大規模から小規模までの修繕が欠かせない。特に、火葬炉は旧式であるため耐火のための改修が必要である。 | 再構築の方針が決まるまでは、適法な管理を行い、必要最低限の修繕を行うことで施設の長寿命化を図る。 【主な改修計画等】 ・火葬炉設備改修 ・火葬炉耐火台車取替修繕 ・高圧機器取替 |
| | | 建築年 | 1984 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 36 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 1,718.99 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 4 | 田中正造記念館 | 所管課 | 財政課 | 163 | 43.1 | - | 1,402 | 55.2 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。NPO法人へ貸付を行っている。 | 今後の具体的な方針が決定されるまでは、不具合箇所の修繕を行い施設の存続、長期利用を図る。計画的な点検を実施し突発的な修繕を未然に防止する。 |
| | | 建築年 | 1981 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 39 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 157.24 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|----------|---------|----------|---------|------|------------|------------|------|----------------------------|-------|---|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 5 | 総合卸売市場 | 所管課 | 農業振興課 | 68 | 53.6 | - | 0 | 56.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 建物について、屋上・屋根の防水は、防水工事の全面施工が必要となっている。建物躯体は、全体的に複数のクラックやコンクリート剥離が多数あり、雨水がコンクリート内部に入り鉄骨腐食が生じる可能性がある。 | 大規模修繕は困難なため、毎年度小規模修繕を実施し、施設の延命化へ繋げる。 |
| | | 建築年 | 1986 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 34 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 4,570.52 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 6 | 岡野町管理事務所 | 所管課 | 道路河川課 | 163 | 43.1 | - | 0 | 56.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 資材置き場として使用している。職員等の常駐はなく、老朽化が進んでいる。 | 最低限の費用におさえながら、環境・防犯上における管理をしていく。都市計画道路青柳広内線計画区域内に施設が存在しているため、事業実施の際には建物を取り壊し、残地へ移転予定。 【主な改修計画等】 ・軒天修繕 |
| | | 建築年 | 1981 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 39 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 74.09 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 7 | 朝日町作業所 | 所管課 | 道路河川課 | 103 | 49.7 | - | 8,534 | 47.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 資材置き場として使用している。職員等の常駐はなく、老朽化が進んでいる。 | 敷地内の除草・清掃、日常点検を実施し、不具合箇所の修繕を行いながら、老朽化施設の撤去、屋外資材置場への転換を含めた活用を検討していく。 【主な改修計画等】 ・外壁修繕 |
| | | 建築年 | 1981 | | | | | | C | 高 | | |
| | | 経過年数 | 39 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 当面維持だが、改修、建替え、再編について検討を進める | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 164.85 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 8 | 大手町書庫 | 所管課 | 行政課 | 89 | 51.2 | - | 1,086 | 55.5 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでいる。周辺に学童・児童センターがあり段差や雨水浸透樹などで、つまづくおそれがある。 | 書庫として今後も長期間継続して利用するため、設備の順次改修を行っていく。 |
| | | 建築年 | 1986 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 34 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 172.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|--------|---------|--------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|--------------------|----------------------------------|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 9 | 大手町倉庫 | 所管課 | 財政課 | 55 | 55.0 | - | 2,356 | 54.1 | 現況評価 | 政策的評価 | 倉庫として使用。老朽化が進んでいる。 | 最低限の費用におさえながら、環境・防犯上における管理をしている。 |
| | | 建築年 | 1999 | | | | | | A | 高 | | |
| | | 経過年数 | 21 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 79.25 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 10 | 旧館林保健所 | 所管課 | 財政課 | 122 | 47.6 | - | 53 | 56.6 | 現況評価 | 政策的評価 | 建物の老朽化が進んでいる。 | 今後の具体的な方針が決定されるまでは現状を維持する方針。 |
| | | 建築年 | 1959 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 61 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 798.80 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 11 | 青柳倉庫 | 所管課 | 財政課 | 200 | 22.7 | - | 0 | 56.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 建物の老朽化が進んでいる。 | 今後の具体的な方針が決定されるまでは現状を維持する方針。 |
| | | 建築年 | 1917 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 103 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | W造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 337.26 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 12 | 旧渡瀬分館 | 所管課 | 財政課 | 200 | 38.9 | - | 0 | 56.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 建物の老朽化が進んでいる。 | 今後の具体的な方針が決定されるまでは現状を維持する方針。 |
| | | 建築年 | 1934 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 86 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | CB造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 19.83 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |

| No | 施設名 | 基本情報 | | 建物（ハード） | | 機能（ソフト） | | | 施設評価 | | 施設状態等 | 今後の計画 |
|----|---------------|---------|---------|---------|------|------------|------------|------|----------|-------|---|---|
| | | | | 老朽化率（%） | 偏差値 | 1㎡当り利用者（人） | 1㎡当りコスト（円） | 偏差値 | | | | |
| 13 | 館林駅前公衆便所 | 所管課 | 緑のまち推進課 | 50 | 55.6 | - | 22,338 | 32.4 | 現況評価 | 政策的評価 | 老朽化が進んでおり、トイレの詰まりがしばしば発生する。 | 今後の具体的な方針が決定されるまでは現状を維持する方針。 |
| | | 建築年 | 1995 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 25 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 47.00 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 14 | 館林駅西口駅前広場公衆便所 | 所管課 | 区画整理課 | 2 | 61.0 | - | 11,545 | 44.1 | 現況評価 | 政策的評価 | 新しい施設であり、状態はよい。 | 施設運営にあたっては、異常箇所を早期に発見することで、突発的な修繕を未然に防止し、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。 |
| | | 建築年 | 2019 | | | | | | B II | 高 | | |
| | | 経過年数 | 1 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | RC造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 54.72 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| 15 | 旧農業指導センター | 所管課 | 財政課 | 132 | 30.3 | - | 0 | 56.7 | 現況評価 | 政策的評価 | 平成28年に県より取得した施設であり、敷地は館林市障がい者総合支援センターへ貸付を行っている。 | 今後の具体的な方針が決定されるまでは現状を維持する方針。 |
| | | 建築年 | 1970 | | | | | | B I | 高 | | |
| | | 経過年数 | 50 | | | | | | 基本となる方向性 | | | |
| | | 構造 | S造 | | | | | | 維持・再編 | | | |
| | | 延床面積（㎡） | 388.80 | | | | | | 整備手法 | | | |
| | | 利用者数（人） | - | | | | | | 維持保全 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

館林市公共施設等全体個別施設計画

令和3年3月発行

発行 群馬県館林市

編集 館林市政策企画部財政課管財係

〒374-8501 群馬県館林市城町1番1号

TEL 0276-47-5106

FAX 0276-72-3297